# 3.3 XML形式電文

## 3.3.1 XML形式電文の電文方式

NACCS の XML 形式の電文方式では、システムヘッダー、業務データともに XML 形式のテキスト電文とする。また、XML 形式 1 電文中に含まれる処理要求電文は、1 件とする。なお、対象業務は、「付表 6-7 対象業務一覧」を参照すること。

#### (1) XML形式電文のフォーマット/バージョン

NACCS の XML 形式電文における電文フォーマット/バージョンは、PAA(Pan Asian ecommerce Alliance)標準/Superset Message Structure V3.3 をもとに NACCS 独自の仕様を追加したものとする。便宜上 NACCS 独自の仕様も含めて PAA と呼称する。

## 3.3.2 XML形式電文の電文構造

XML 形式電文は、通信プロトコルヘッダー及び通信プロトコルトレーラーが付加される。 電文構造を、図 3-3-1、図 3-3-2 に示す。

なお、通信プロトコルが SMTP の場合、各終了タグの後に改行を入れ、送信データ 1 行当たり 1000 バイトを超えないような対処をする必要がある。

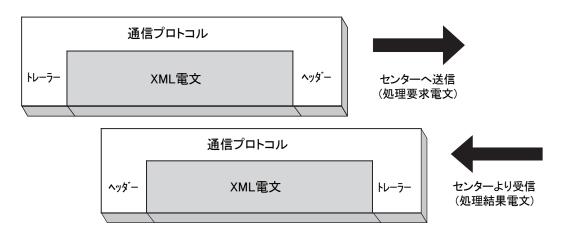


図 3-3-1 XML 形式電文

	プロトコルヘッダ/トレーラ												
	システムヘッダ部												
XML ヘッダ	NACCS 電文 開始タグ	NACCS ヘッダ 開始タグ	項目1 開始 タグ	項目1 *	項目1 終了 タグ	項目2 開始 タグ	項目2 *	項目2 終了 タグ		項目n 開始 タグ	項目n *	項目n 終了 タグ	NACCS ヘッダ 終了タグ

		プロトコルヘッダ/トレーラ															
	業務データ部																
•••	階層1	データ部 階層2 開始タグ	データ1 開始 タグ	データ1	データ1 終了 タグ	データ2 開始 タグ	データ2	データ2 終了 タグ	データ部 階層2 終了タグ		データ部 階層2 開始タグ	データn 開始 タグ	データn	終了	階層2	データ部 階層1 終了タグ	NACCS 電文終 了タグ

\* 入出力共通項目対象項目(入出力共通項目を複数の項目とし、階層構造としている) 図 3-3-2 XML 形式電文構造の例

# 3.3.3 XML形式電文の送受信電文の種類

XML 形式電文の送受信に対応する処理方式の一覧を、表 3-3-1 に示す。

表 3-3-1 XML 形式電文の送受信電文一覧

	イン				
電文の種類	NACCS パッケージ ソフト(注)	SMTP 双方向	netAPI	メール処理方式	
処理要求電文	_	0	0	0	
出力情報電文	_	0	0	0	
処理結果通知電文	_	0	0	0	

(注) NACCSパッケージソフトは、NACCS EDI電文のみ対応(XML形式電文は、使用できない)。

# 3.3.4 XML形式電文の電文仕様

XML 形式電文の電文仕様(マッピング表)については、「付録 13」及び「業務仕様書」を参照すること。

なお、各項目の桁数について、PAA 標準と処理要求電文/出力情報電文には、差異があるため、表 3-3-2 のとおりの扱いとする。(注)

また、処理要求電文について「項目名」に記載のないタグ(階層タグを除く)を設定する場合は、空タグとして設定すること。(設定されている場合、XML形式電文の内容が不正であると見做され、エラーとなる。(エラーコードA0022))

表 3-3-2 PAA 標準と処理要求電文/出力情報電文の桁数差異への対応

桁数の関係	対応内容
PAA 標準 >処理要求電文 (PAA 標準の桁数が多い)	処理要求電文の桁数分を有効データとして処理する
PAA 標準〈処理要求電文 (PAA 標準の桁数が少ない)	PAA 標準の桁数を有効データとして処理する
出力情報電文 > PAA 標準 (出力情報電文の桁数が多い)	PAA 標準の桁数を有効データとして処理する
出力情報電文 < PAA 標準 (出力情報電文の桁数が少ない)	出力情報電文の桁数分を有効データとして処理する

(注) PAA標準で定められた桁数を超過した入力がされていた場合、PAA標準の桁数の範囲を有効データとして扱う。

#### 3.3.5 マッピング表の見方

XML のマッピング表の見方を説明する。 マッピング表については、業務仕様書のマッピング表を参照すること。

## (1) マッピング表

#### (A) PAA(XMLフォーマット)

PAA で定められたマッピングフォーマットを使用しており、NACCS で使用する入出力項目に係るタグのみ記述している。

各項目のフォーマットにかかる記載については、以下のとおり。

Index : PAA マッピングの項番を示す。 Level : タグの階層のレベルを示す。

Field Name : PAA で規定したタグの名称を示す。 Superset Field Type/ Length : 属性・桁数を示す。

 a : 英字
 a3
 : 英字、3 桁固定長

 n : 数字
 n3
 : 数字、3 桁固定長

 an : 英数字
 an3
 : 英数字、3 桁固定長

a..3 :英字、3 桁可変長 n..3 :数字、3 桁可変長 an..3 :英数字、3 桁可変長

# (B) 差分

差分については、PAA の桁数から NACCS 業務の入出力項目の桁数を差引いたものを示す。なお、差分がない場合、または対応するものがない場合はスペースで示す。

#### (C) NACCS入出力項目情報

対象となる入出力項目のマッピングにかかる記載については、以下のとおり。

項目名: 入出力項目名を示す。

条件:項目の必須/条件付区分を示す。区分については、以下のとおり。

M: Mandatory(必須項目) C: Conditional(条件付項目)

属性:項目の属性を示す。属性については、以下のとおり。

n : 数値(小数含む、カンマ使用不可)

an: 英数字(小文字使用不可) sn: 英数字(小文字使用可)

j : 日本語使用可(桁数はバイト数)

桁数: NACCS における項目の桁数を示す。

ただし、数値項目は、小数点を含めた桁数を示す。

コード: 入力項目において、コードのチェックを行うコードを示す。

入出力条件/形式: 入出力するデータの詳細条件を示す。

備考:マッピングに関する補足情報を示す。